



待ち遠しい春（グラウンドにて）



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会  
 救護施設紅花ホーム  
 天童市大字成生1971番地26  
 0237(47)0241  
 HP <http://gyokuyokai.or.jp>  
 E-mail [kokahome@gyokuyokai.or.jp](mailto:kokahome@gyokuyokai.or.jp)



新春のごあいさつ

園長 細谷 康夫

新年あけましておめでとう  
 ございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。昨年は、全国各地で記録的な豪雨や大規模な地震等が発生し甚大な被害をもたらしました。今年こそ災害のない平穏な一年であってほしいと願っています。

当施設では、現在「個別支援の推進」を重点目標に掲げ、個々の利用者の自己実現に向け個別支援計画書に基づいた支援に取り組んでおります。平成二十七年から取り組んできた居宅生活訓練事業では、昨年五月には事業開始から三人目となる方が地域生活移行を果たすことができました。また、四月から訓練を行って

でいるところです。

また、自立訓練の一環で行っている社会資源の利用では、公共交通機関である天童市予約制乗合タクシー「ドモス」などを利用しての買い物など、利用者の皆さんの行動範囲も広がり満足度も向上したものと思っております。

一方、昨年は、これまでになく生活困窮などの問題を抱えた緊急一時入所が多く、対応の難しさを実感したところです。今後とも、地域におけるセーフティネット施設として、利用者の安全・安心を担保しながら利用者への個別支援の推進を図るとともに、生活困窮者問題にもしっかりと目を向け、救護施設としての役割を果たしてまいります。

本年も、ご家族と地域の皆さまの変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



庄内地方出身の方々、ふるさと訪問中の海辺にて

このあとのトッピングが  
楽しみなのよね!



遊びリテーション  
色別に手足の動きを変えますよ~!  
む…難しいですね…



雪道具の準備中!



ハガキ作成中  
和紙のような仕上がります



分煙はじめました。  
タバコは軒先でお願いします!



みんな~集まって~!  
(呼びかけおつかれ様でした)

### より強く 求められていること

#### 支援の近況

これまでの支援を少し振り返ると、施設内で出来ることを中心にした支援の傾向が強かったり、行事であれば職員が主導したりすることも多かったのですが、ここ数年は利用者が行事の進行や企画にも参加できるようになっています。

また、利用者が活動を再開したことで、飲料の自販機の運営を行い、カラオケ大会や秋の散策といった企画も全て利用者自らが行っていきます。中心的な立場になって活動することを楽しんでいる方も増えてきています。

個別支援では、それぞれがそれぞれの予定で買い物に出掛けたり、公共施設や商業施設等を利用する機会も増えてきたり、生活の様子も変わってきました。

新規入所の傾向としては、精神科病院等を退院した時の移行先として利用される方、

隣人近隣とのトラブルや金銭問題を抱えた方の入所、年齢では二十代から四十代の比較的若い方の入所も増えています。また、病院から施設の生活訓練を経て、一般住宅やグループホームに居住することを目標にして入所される方もいらっしゃいます。

私たちは地域にどのような社会資源があつて、それらとどのような連携を可能にして、利用される方々の福祉ニーズに近づくことができるのか、そのことを日々より強く求められるように感じています。

困っていることのひとつに携帯電話があります。当施設に限らず東北管内の同じ救護施設でも同じような悩みがあるようです。例えば通話料金が高額になって払えなくなる方がいることや、携帯電話を使って利用者や職員を無断で撮影して、更に無断でSNS等にアップされることもありました。現在は個々の事情に配慮しながらも、約束ごとを守ったうえで使っていただいています。



クリスマス会



お困りの方をお見かけしましたら  
お声掛けさせていただきます



悪戦苦闘中  
ゆらすなっ〜(#!°)



定義如来山門にて  
三角あぶらあげ?  
もちろん  
いただきましたよ~!



間もなぐ緑も冬景色 除

### 呼びかけに二十人

〜楽しい秋の一日〜

利用者会の年間行事のひとつでもある「秋の紅葉散策」が行われました。この行事は数名の女性利用者の希望から始まり、どこへ、何を利用して行くのか等、全てを利用者会の役員の方たちが中心になって企画、実施していただきました。

移動には低料金の予約制乗合タクシーを利用することや、参加者集めには、募集ポスターを作って呼びかけていただいたようです。約二十名が集まり、晩秋の「山形県総合運動公園」に出掛けてきました。

黄色に色づいた銀杏並木の、まるで絵の中に入り込んだかのような見事なまでの美しさのなかで、ため息が漏れることもしばし。皆さんで写真を撮りあつたり、落ち葉拾いに夢中になったり、ゆったりゆつくりと秋の一日を満喫できたようです。

参加した皆さんからは「きれ



次はもっと参加人数が増えそうですね



「いだなあ」「来ていがったなあ」「まだくっだいなあ」「こいななど」で飲むジュースはうまいなあ」等、トラブルやケガもなく、行事全体としても概ね好評に終えることができたようです。

企画の立案から実行までの大部分を、利用者会の役員自らが考え行動していく割合が段々と増え、サポートする側の職員としても大いに喜んでいくところですよ。

今後もっとたくさんの方が参加できる企画になるように活動の支援に努めて参りたいと思います。

◆ありがとう◆

☆天童市更生保護女性会様

☆後藤和信様

☆伊香賀登様

☆きらめき会様

☆友近890(やつくん)様

☆乱川婦人会様

☆向原町内会様

☆小南良子様

☆山形県民踊協会様

☆天童理容組合紅花会様

☆YCBクリスタルサウンズ様

◆おめでとう◆

《表彰》

☆全国救護施設協議会  
永年勤続功労者表彰(20年)

総括支援員 後藤 香織

副総括支援員 熊澤 充昭

☆全国社会福祉協議会

永年勤続功労者表彰(30年)

総括支援員 長谷川 悟

「早く力になれますように」

\*\*\* 新任職員紹介 \*\*\*

支援員

藤井 沙羅



①出身地

天童市

②好きな言葉

一生懸命

③夢中なこと

サッカーの応援に夢中です。

④一言

一日も早く仕事を覚えて利用者さんのお力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします

◆おしらせ◆

《退職職員》

(平成三十年七月十三日付)

・大類 春奈

(平成三十年九月三日付)

・高梨 寿子

◆利用状況◆

■定員一一五名

■利用者数一一〇名

(平成三十年十二月末日現在)

■平成三十年七月〜十二月の入退所状況

入所 六名、退所 三名

一時入所※①

九名 延六十五日利用

体験入所※②

十二名 延三十一日利用

※①対象者 生活保護の被保護者の方で一時的に保護する必要性が高い方、最長一か月

※②対象者 入所することを目的に施設内の生活を体験したい方、一七日間

日本全国の美味しいものを食す

〜ご当地メニュー〜

鮭のちゃんちゃん焼(北海道)ガパオライス(タイ)ロコモコ井(ハワイ)キムタクご飯(長野県)深川飯(東京都)北本トマトカレー(埼玉県)ハントンライス(石川県)イカシューマイ(佐賀県)釜揚げシラス丼(神奈川県)タイピーエン(熊本県) 全国のご当地名物と呼ばれる料理を毎月一回提供しています。先のメニューはここ一年くらいのもので、提供を始めて三年近くになります。たまに海外料理も入るので、毎日の食事のアクセントとして各地の名物を楽しんでいただければと思います。初めてのメニューもしばしばで、利用者の皆さんへ献立をお知らせするたびに、味への興味でしょうか、とても心待ちにされているようです。

これからもお元気で 「祝白寿」



「訂正とお詫び」 先の一七六号(平成三十年八月一日)の巻頭写真掲載の「山形県救護施設交歓会」の順位に誤りがありましたので、訂正のうえお詫び申し上げます。(誤)第二位みやま荘、第三位泉荘(正)第二位泉荘、第三位みやま荘

編集後記

本誌、「紅花だより」が創刊されたのは昭和四十三年と入った頃の先輩から聞きました。つまり今年で五十年となるわけです。これまでに百七十七回発行されていますが、残念ながら全号の号は既に施設にも残っていません。編集作業の参考にと古い号にある写真を見てしまうと利用者や職員の変わりようや、色々なことを思い出してしまい、ちよつとしたタイムスリップ気分になります。(T)

※写真真氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。印刷 樹文昇堂印刷 023(6886)5105